

緑の相談所だより

—第43号—

[冬号 1996. 12. 1発行 編集：旭川市緑の相談所]

緑の相談所をたくさんのかたがたにご利用いただきありがとうございます。
相談員がアドバイスする植物のご相談については、電話、来所でもお気軽にご利用をお待ちしております。

緑の講習会も第2、第4日曜日に年21回行なっています。

熱帯植物、時期の草花を揃えた展示室、緑化図書、園芸ビデオを楽しめるコーナーも設けて皆様のご来所をお待ちしております。

鉢花 (シクラメン) の育て方

●置き場所

花が咲いている時は、日光をたいへん好みますから、日当たりの良い室内の窓辺に置き、時々、鉢の向きを変えて株全体に光が当たるようにします。急激な温度変化は株が弱りますから、昼夜の温度差の少ない場所で管理します。花が咲き終わる3月ごろからは、屋外に出して日光に十分当てます。ただし、夏は直射日光を避けましょう。

●水やり
花が咲いている時は、鉢土の表面が乾いてきたら、午前中に鉢底から流れるくらいにたっぷり株元にあたえ、受け皿に

☆☆☆☆☆

たまった水は捨てます。
3月以降も同様にあたえます。

●肥料

花を長く楽しむには、ハイポネックス液肥（微粉ハイポネックスあるいは原液ハイポネックス）をあたえます。または、置き肥としてプロミック錠剤や、薄めずそのままあたえるハイポネックスキュート（シクラメン・ペゴニア用）も使いやすく便利です。

●植えかえ

1年に1回、8月下旬にひとまわり大きい鉢に元肥として、マグァンプKを混ぜて植えかえます。



どうぞよろしく

11月6日旭川動物園よりエゾリスが寄贈され、相談所横の「リスの家」で走りまわっています。クルミ、カボチャのタネ、ヒマワリのタネが大好きです。

仲良くしてね！

♥エサ届けて

もらえるとうれしいな♥



歩くスキー 貸し出し

期間

12/15～2/28

(ただし年末年始は

12/28～1/5迄

お休みします)

無料です。

お楽しみ下さい。



ポインセチアを育ててみませんか

クリスマスシーズンに欠かせないポインセチア。最近では、苞の色も赤だけでなく白やマーブルなど豊富にそろい、冬の室内を華やかに彩ります。



購入

11月ころから園芸店に回るポインセチア。根のよいものを選びます。それには、花枝が多く、葉が落ちないもの、株の根元がしっかりとっているものを選びます。

冬場の管理

購入した鉢は、室内のガラス越しの日光がよく当たる場所に置きます。冬でも室内温度が7〜8度が必要です。朝夕、室温が下がる場合は、ビニール袋かダンボールをかぶせます。

花後の管理

冬を越して花が終わった株は、4月中旬から10月中旬頃まで、戸外の日当たりのよい場所に置きます。ポインセチアは水を好むので鉢土の表面が乾かないように注意し、充分に水やりをします。

植え替え

4月中旬から下旬に、枝を2、3芽残して切り、ひとまわり大きな鉢に植え替えます。用土は、赤玉土(小粒)に腐葉土を、これに元肥としてマグアンプKを5号鉢で10gほど混ぜたものを使います。植え替え後、1週間くらいは半日陰に置き、その後は日当たりのよいところに置きます。

2〜3芽残して切る



摘芯

7月上旬から中旬に、2〜3芽残して摘芯し、さらに8月中旬から9月にかけて、4〜5芽を残して2回目の摘芯をします。枝の混んでいるところは小枝を間引き、日当たりと風通しをよくします。

肥料

植え替え後、4月下旬から8月までの成長期には、液肥を2週間に1回与え、緩効性肥料を2〜3カ月に1回置き肥します。



7月上旬〜中旬
2〜3芽残して切る

短日処理

ポインセチアは短日性植物ですから、苞を赤くするには、9月頃から1カ月前くらいの間、短日処理を行います。夕方5時頃から鉢にダンボール箱をかぶせるか、鉢ごと物置などの暗い所に移して遮光して、翌朝8時ころにまた戸外に出すことをくりかえすのです。こうすると11月から12月ころにきれいに色づく可能性が高くなります。

挿し木

7月に摘芯したときの新しい芽は、挿し木でふやすことができます。挿し枝は、白い樹液をよく水洗いしてから、パーミキエライトなどの挿し床に挿します。土が乾かないように水やりをし、半日陰に置けば、約1カ月はどで鉢上げができます。鉢上げ後、1週間は風の当たらない所に置き、その後は一般と同様に管理します。

ポインセチアの年間管理

| | 1 | 2 | 3 | 4 | 5 | 6 | 7 | 8 | 9 | 10 | 11 | 12 |
|------|----------------|---|---|----|---|--------------------------|-----------|-----------|----|------|----------------|----|
| 生育状態 | | | | | | | | | | | 開花 | |
| 作業 | | | | 購入 | | | 摘芯 挿し木 | | 摘芯 | 短日処理 | | |
| 置き場 | ガラス越しに日光が当たる室内 | | | | | | | 日当たりのよい戸外 | | | ガラス越しに日光が当たる室内 | |
| 肥料 | | | | | | 液肥を2週間に1回、緩効性肥料を2〜3カ月に1回 | | | | | | |



冬が来た



北国の12月、1月はいやがおうでも冬、とうとう冬が来てしまったのだ。今年
は少し早めの11月に雪がきてそのまま冬が居座ってしまった様子。そのせいかチ
ューリップやヒアシンスの植え忘れが目立ったようで、どうしたら良いでしょうと
の問い合わせが数件ありました。皆様方の所ではよもや・・・いやあるかも知れま
せん。この雪の中では、ちと辛い。球根も可哀そう。”冬がくる”と教えてあげ
たのに。ダリアやカンナが雪の下なんてことは・・・無いでしょうね。

こう周りが白くなってしまっは、仕方ありません。ひとつ根性を据えて冬ご
もりとまいりますか。とは言っても我々人間はシマリスやカエルのように冬眠を決
め込むわけではありませんから冬ごもりの仕方が中途半端になってしまい、これが
また悩みの種になるわけでして。第一、冬ごもりの本拠地がこんなにほんわかと暖
かくては眠っていようにも寝てはいられないわけで、それ、例の虫がもぞもぞと動
き出して来る始末。こんなに暖かいわが家は温室と同じ、花が咲かない筈はないし、
緑が育たぬ道理もない！ と向かいの家の奥さんはいそいそと花屋さんのガラス戸
を押し開けて、苦勞の種を仕入れてくるから冬も結構忙しくなる。お隣さんでも2
～3週間前部屋に取り込んだ鉢物から居心地について何か苦情がでて頭を悩ませ
ているらしい。わが家だけは例外だと高をくくっているととんだことになりますぞ。
あなたの誕生日はいつですか？ Xマスは近いし、正月も来る。普段は音沙汰
の無い孝行息子や孝行娘からとっておきのプレゼントが届くことになりますな。今
まで花などには”関心これ無く候”のあなたが悪戦苦闘することになるのは請け合
い。そこで冬に眠り損ねた園芸狂の悩みを軽くするために一言アドバイス。

- * 夜間のお付き合いはご遠慮申し上げます・・・カラコエ、ロケア、葉状サボ
テン、ポインセチアなど短日植物一同のご挨拶です。陽が落ちたら暗いところへ。
- * ご主人様、今はどの季節でしょうか・・・ウメやボケなどの花木がお正月に開
花させられた時の質問です。花が満開になったら新芽の動かない寒いところへ。
- * 窓の明かりがとても恋しいハチバナ・・・冬は慢性日光不足だよという部屋の
鉢物一同の悲歌です。鉢物は日焼けしない範囲で出来るだけ光に当てる工夫を。
- * 私達のハナにつけるクリームないかしら・・・部屋の空気が恒常的に乾いて湿
度不足に悩まされている特に葉の大きな植物の嘆きです。保湿の工夫が大切。
- * 暑すぎても脱ぐことが出来ませんの・・・冬は寒い、されど部屋は真夏なみの
暖房に悩む花のつれない言葉。室温は昼22℃、夜10℃位に。花は低めでながもち。
- * 息の詰まる生活にはもう耐えられません・・・閉めきった部屋の空気の停滞が
やがて離別へと、との訴え。日中の暖かい時を見計らって空気の一部入れ替えを。
- * そう注がれても飲みきれぬもんじょござんせんや・・・乾かないうちに注ぎ足
しされる鉢っあんの嘆きです。水やりは室温で、鉢の中が乾いてからたっぷり。
- * 程々にしておかんと春までもたんもな・・・ご馳走を沢山戴いて食べ残した鉢
爺（や）の言い訳。冬は施肥不要の鉢物が大半。開花・生育中でも薄く、少なく。

と、こんなところにご注意を！！

シソ科植物の紹介

梅干し、大葉などスーパーでお馴染みのシソですが、このシソの仲間には観賞用を含めていわゆる有用植物になっているものも多くあります。花を見ると皆同じような形で派手なものはあまりありませんが、葉に芳香のあるものも多く、香料としての利用で今話題のハーブの中にはシソ科の仲間が数多く入っています。いづれも育て易く鉢植えなどで楽しむこともできます。

シソ

赤シソ、青シソ、チリメン、芽シソ、穂シソなど身近にいつもあるもので家庭菜園の常連です。食欲をそそる香りがよく、毎朝庭先から青シソの葉を摘み海苔代わりの一品とすれば食が進みます。毎年こぼれ種で自然に生えてきますが、雑交しやすく近くにエゴマ等がありますと翌年香りの変わったシソになったり、青シソが赤シソにまたチリメンがなくなったりすることがあります。

ハッカ（ミント）

かつては北海道の名産で、現在は合成品の香料におされ栽培は少なくなっ
てしまいましたが、ハーブブームのおかげでまた注目されてきました。種類
が多く特有の香りの中でも微妙の違いがあり色々な利用法楽しみ方が知られ
ております。宿根性で育てやすく地面を這い覆いつくすようにに増えますの
で、雑草よけにも利用できます。

バジル

メボウキ、バジリコなどよく知られた名でハーブ類の中でも人気のあるも
のです。トマト料理と相性がよくイタリアでは古くから使われた香辛料で、
葉を生または乾燥して利用します。香りが異なるだけでシソとよく似た形を
しており、庭先で手軽に栽培できます。

サルビアとセージ

花壇などに利用し花を楽しむ種類をサルビアとよび、同属の宿根性で葉を
薬用または調味料に利用する種類にセージがあります。

サルビアはヒゴロモソウの名のとおり緋色の花が特徴でしたが、いまは白
ピンク、紫など改良された品種がたくさんでています。

セージは肉の脂肪分を分解し臭みをとるということでソーセージに入れら
れておりお馴染みの香辛料です。寒さに比較的強く青い花も見られ、ハーブ
として庭先に1株はおきたい植物です。

コリウス

葉が色とりどりで美しく、花壇、鉢植えでよく見かけるものです。花を見
るとシソ科と理解できます。改良が進みたくさんの品種が揃い、寒さには少
し弱いですが挿し芽で簡単に増える種類もあり、半日陰の方が色が鮮明に出るな
ど、室内に置くには都合の良い鉢物です。